

ワークショップ 8

「消化管疾患における漢方のエビデンス」

司会 野村 幸世（星薬科大学医療薬学研究室）

長沼 誠（関西医科大学内科学第三講座）

近年、機能性ディスペプシアや過敏性腸症候群、炎症性腸疾患などの消化管疾患に対し、漢方治療の有用性を示すエビデンスが蓄積されています。

本セッションでは、漢方薬の臨床効果や作用機序、エビデンス構築の現状と課題を多角的に議論します。

臨床・基礎研究を問わず、幅広いご演題のご応募をお待ちしております。